

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2016
vol.228
毎月1日発行

5月号

杜の伝言板 ゆるる

月刊



障がいのある人も
ない人も
共に暮らしやすい
福祉のまちを
つくるために。

- 障害者差別解消法が施行
建設的対話のツールとしての解消法 とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI
- 東日本大震災から五年を経て 募金サイト『復興みやぎ』で支援したNPOの「今」 第3弾
- 宮城県共同募金会 花咲いた「みやぎチャレンジプロジェクト」

みやぎNPOプラザからのお知らせ

「交流サロン」「共同作業室」を活用して、快適なNPO活動を！

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



障害者差別解消法が施行

建設的対話のツールとしての
解消法

とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI 実行委員長 伊藤清市

●●● 社会的障壁 ●●●

この四月から障害者差別解消法（以下、解消法）が施行されました。障害のある人にとって日常生活や社会生活を送る上で障壁になるものを「社会的障壁」といい、解消法では①社会における事物（利用できない、もしくは難しい設備、施設）、②制度（利用できない、もしくは難しい制度）、③慣行（障害のある人を意識していない慣習や文化）、④観念（障害のある人への予断や偏見等）の四つを定義しており、障害とは疾患等の医学的な問題だけではなく、その人を取り巻く環境の問題とされています。

●●● 「不当な差別的取り扱い」と「合理的配慮の不提供」 ●●●

こうした社会的障壁を取り除く目的で成立した解消法では、障害のある人に対する「不当な差別的取り扱い」と「合理的配慮の不提供」が禁止されます。不当な差別的取り扱いとは、正当な理由もなく障害があるということだけでサービスの提供を拒否、制限、または障害のない人にはない条件をつけたりすることです。具体的には、レストランへの入店を車いす

ということで断られた。アパートやマンションを借りようとして、障害があることを伝えると、そのことを理由に拒否された等があります。

一方、合理的配慮の不提供とは、障害のある人から社会的障壁を取り除くことを求める意思の表明があつたにも関わらず、そのための必要かつ合理的な配慮（対応）をしないことです。意思表示には、自分の意思を伝えることが難しい障害のある人に代わり、その家族、介助者、関係者等が表明することも含まれます。具体的には、駅でホームの場所を駅員に尋ねたが、わかるように説明してもらえなかった。耳が不自由なので、会議に手話通訳者が必要だと申し出たが、用意してもらえなかった等があります。

逆に差別には当たらない（差別的取り扱いがある、または合理的配慮がなされなくてもやむを得ないとされる）例として、①エレベーターの設置が経営上どうしても難しい等の、事業者に「過重な負担」がかかる場合、②合理的配慮を求めると意思の表明がない場合、③物が本質的に変わってしまう場合、④障害のある人への優遇等があります。しかしながらいずれも、差



◀多くの市民でにぎわう「とっておきの音楽祭」

別に当たらないとする正当な理由を障害のある人に説明する必要があるとともに、過重な負担という言葉が口実にならないようにしなければなりません。

●●● 法律の対象範囲 ●●●

この二つの具体的な対応として、国は基本指針を定め、各省庁では行政機関を対象とする対応要領と、所管する民間事業者を対象とする対応指針が策定されています。不当な差別的取り扱いの禁止は行政機関、民間事業者ともに義務ですが、合理的配慮の不提供の禁止については行政機関で義務化されるのに対して、民間事業者では努力

▶障害のある人もない人も一緒に



義務になります。民間事業者の範囲には企業やNPO法人はもちろんのこと、任意団体や大学のサークルも対象となります。ただし、個人間の思想信条、言論、表現までは対象になりません。

他にも、差別された時の相談窓口の設置や、差別解消を効果的に進めるための国や地方公共団体のネットワーク「障害者差別解消支援地域協議会」を組織することができますと規定されています。さらには、民間事業者に対し、報告を求め、または助言、指導若しくは勧告をすることができることされており、差別を解消する担保が期待されます。なお、雇用における差

別については、「障害者の雇用の促進等に関する法律(障害者雇用促進法)」の定めるところによります。

●●● 仙台市障害者差別解消条例 ●●●

解消法の施行と時を同じくして、仙台市でも「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」(通称 仙台市障害者差別解消条例)が施行されました。

法律があるなら条例をつくる必要はないのではと思われるかもしれませんが、解消法の附帯決議では、地方自治体が法律の「上乗せ横出し」の条例をつくることを可能としており、現在、全国各地で同様の条例が成立施行されるとともに、手話を言語として位置付け、聴覚障害者の社会参加を促進するための「手話言語条例」を制定する自治体も増えています。

上乗せとは、法律による基準より厳しい基準を課したものの。横出しとは、法律により規制の対象としていない分野等に対して、新たに規制の対象を設けるもので、仙台市の条例では、障害があるとともに女性であるという、複合差別に対しての明記や、勧告に従わない事業者名を公表する等、法律よ

り重い処分が課せられています。

また、仙台市の条例に特筆すべきなのはその名称。これまで全国の条例では「共に生きる」や「暮らしやすい社会」等、共生社会の理想は汲み取れるけれども、差別解消という明確な目的が市民に伝わりにくいという声が当事者から上がっていました。その中で仙台市が「差別をなくす」と明記したことは、これからの全国の条例に一石を投じることになるのではないのでしょうか。

●●● 市民に期待すること ●●●

法律や条例に「差別」という名称がつくため「腫れ物に触れる」というイメージがあるかもしれませんが、私はむしろ、障害のある人及び関係者と事業者の「建設的な対話」のツールとして活用すること

を期待しています。例えば先述した合理的配慮の例を挙げると、自閉症の人がクラシックを鑑賞したい場合、これまでは漠然とした不安で主催者側が断っていたわけですが、落ち着いて聴けるような席の確保(合理的配慮)はもちろんのこと、盛り上がるのと立ち上がってしまう場合には、ホールの聴音室や控え室での鑑賞の提案(建設的な対話)も選択

肢になります。

つまりは、これまでのような「できる、できない」の二者択一ではなく、どうしたら本人の願いを叶えながら観客との調和がとれるかを、当事者、関係者、事業者が知恵を絞って考えることが重要になります。市民には、合理的配慮を望む当事者の声に一層耳を傾け、差別の解消に向けて様々なアイデアを共に創出することを切に期待します。

最後に、解消法第十五条には、差別の解消について国民の理解と関心を深める等の啓発活動について謳われています。手前味噌ではありますが、私が実行委員長を務めています「とっておきの音楽祭」もこの十五年の間、障害のある人もない人も共に楽しめるイベントとして様々な啓発活動を行ってまいりました。法律や条例の施行で、私たちもさらなる啓発に務め、共生社会の実現に向けて邁進していきたいと思います。

とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI

〒980-0014 仙台市青葉区本町2-9-3 6階
 ●TEL : 022-265-0980
 ●FAX : 022-716-5717
 ●URL : <http://totteokino-ongakusai.jp/>

—東日本大震災から五年を経て—

募金サイト『復興みやぎ』で 支援したNPOの「今」

第3弾

<http://www.fukkou-miyagi.jp/>

『復興みやぎ』で、支援した9団体の中から、本誌面では、3団体をご紹介します。

- NPO法人輝くなかまチャレンジド
- NPO法人なごみ
- NPO法人創る村

左記サイトでは、下記6団体の最新情報も掲載中です。

- NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元
- NPO法人泉里会
- NPO法人どんぐりの家
- NPO法人のんびりすみちゃんの家
- NPO法人みどり会
- NPO法人みやぎ身体障害者サポートクラブ

甚大な被害をもたらした東日本大震災後、杜の伝言板ゆるるは募金サイト『復興みやぎ』を立ち上げ、被災地で活動を続けるNPO法人への寄付を呼びかけてきました。当サイトでご紹介している九団体から現在の復興状況を伺い、三月号からお伝えしてきた連載の最終回をお届けします。

被災地に目を向けると、今なお復興途上であり、様々な支援が求められています。震災直後は毎日の生活を送るだけでも大変ななか、活動を続けるべきかも見通せない状況にありました。それでも、目の前の課題や困難を乗り越え、また歩み出すことができたのは、資金面や物資、ボランティアなどの人的支援といった、全国からの温かいエールが何よりの励みになった、と皆さん声をそろえて言います。

「つながり」「きずな」「支え合い」という人間が本来もつ思いやり精神が、忙しない日々の中に埋もれてしまっていたことにも気付かされました。

「寄付文化」がこの震災をきっかけに、日本にも浸透しつつあります。インターネットを活用した『復興みやぎ』のように、多様な手法が増え、全国どこからでも、支援

を求める相手を自分で選んで応援できるようにになりました。

これから住みよい社会を次世代に継ぐための取り組みとして、今、NPOの活動が注目されています。NPOが活動を継続していくために、寄付は大きな原動力になります。そして寄付は、「地域のために何から始めたら良いのだろう」「直接活動はできないけれど応援したい」という市民の皆さんが気軽に地域づくりに参加できる手段のひとつでもあります。

震災から五年を経て、これから十年、二十年という節目を迎える時、私達は後世に何を残すことができるでしょう。復興を後押しする、皆さんの支援や寄付が地域を変えていくチカラになります。

●●●●● 共生型福祉施設「織音（おりおん）」として再出発 ●●●●●

NPO法人輝くなかまチャレンジドは、障がいを持つ弱い立場の人が、『さをり織り』の制作活動を通じて、地域の中で「自分らしく」「人間らしく」「楽しく」生活していくことを願い、石巻市で地域活動支援センター「こころ・さをり」を運営しています。

東日本大震災で、沿岸近くに

あった事業所は大きな被害を受けましたが、利用者も職員も避難し、全員無事でした。一週間救助を待つ日々を過ごす中で、この非常事態でいかに利用者を守るかという責任の重さに、一時は活動再開を断念しようとも考えました。しかし、温かい応援と、再開を待つ多くの声に背中を押され、二〇一一年六月に、市内の避難所やスタッフの自宅で活動を再開。八月には仮設住宅の集会所を借りることができました。

仮施設での活動と並行し、新たな事業所再建のため物件探しもあきらめずに続け、ついに石巻市中浦に候補地を見つけたのが、震



▶輝くなかまチャレンジド
製作活動の様子

災から二年後のこと。土地の区画整理など紆余曲折を乗り越え、二〇一五年九月に地鎮祭を迎えました。

当初見込んでいた再建費用は七、〇〇〇万円台。全国からの支援金を含めた自己資金二、二三八万円と、宮城県の補助金五、五〇〇万円を合わせて、七、七八三万円を準備しました。ところが着工間近に、資材費の高騰などで費用は九、七〇〇万円に跳ね上がり、さらに一九〇〇万円が必要になりました。

利用者が平穩に活動でき、家族も安心して任せられる場所を作るためには、再建をあきらめるわけにはいきません。この想いをブログや書面で全国に伝えると、賛同者から沢山の寄付が届き、ゆめ風基金の助成金五〇〇万円を合わせて六〇〇万円以上の寄付金が集まりました。きょうされん(旧称…共同作業所全国連絡会)からも一〇〇〇万円の支援があり、ゴールまでもう一息です。

今年の四月に完成した待望の施設新設に合わせて、事業所名を『織音(おりおん)』に改名しました。『さより』だけではなく、様々な形で地域に寄り添い、貢献していきたいという想いがあるからです。

「震災当時は本当に小さな作業

所でした。それでもこうやって地道に活動を続けられたのは奇跡に近い」と施設長の熊井睦子さん。「私達の活動をいつも見守ってくださる方々だけでなく、今まで繋がりできなかった方からも資金や物資の支援と合わせて、商品購入という形でも応援いただきました。感謝の気持ちでいっぱいです」と熊井さんは続けます。

これから、高齢者、障がい者、子どもをはじめとする地域住民のコミュニティの場「共生型福祉施設」として再出発する輝かなかまチャレンジドは、日中一時支援である地域活動支援センター事業に加えて、就労継続支援B型施設の機能も担います。五年の月日を経て実現した新拠点で、従来通り地元根差した活動を行いながら、新たに歩み始めました。

●●地域の社会復興に全力投球●●

家庭的な環境の中で安心して暮らせる、高齢者にとってやさしい社会の実現を目指すNPO法人なごみは、宮城県気仙沼市で六事業所、岩手県一関市では三事業所の介護サービス施設を運営していましたが、東日本大震災で、気仙沼市本吉にある施設四棟が津波によ

り流出しました。

それに伴い、被災を免れた定員九名の事業所に、行き場を失った利用者十八名が臨時的に入所する事態も強いられました。

利用者のために、一刻も早く再建しようと奔走し、二〇一一年六月に着工、十月には新施設で利用者の受け入れを始めました。

流された四事業所のうち一つは、国の交付金で建てたため、費用の六分の五が補助されますが、独力で建てた施設は自ら再建しなければいけません。流失した建物の借入も残ったままで、二重ローンという壁にも直面しました。改

修・建築費用に対し四分の一まで補助される、宮城県の補助金を利用してもまだ足りません。自分達で工面しながら、募金サイトなどで資金を募るとともに、民間の助成金も活用しました。

「震災直後は、利用者を亡くし気持ちが続かなくて、利用者や職員を励ます立場でもあり、自分を奮い立たせながら苦しい日々を過ごしました。地域の復興のため、もつとできることがあったのではないかと、と今も頭をよぎりますが、目の前のことをこなしていくだけでも精一杯で、あつという間に過ぎ行く五年でした」と法人統括部長の木村伸之さんは当時を振り返ります。

常に利用者の心身を考えながら、居場所づくりに尽力した木村さん。今では気仙沼市と岩手県に、グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター(居宅介護支援事業所)、小規模多機能ホーム、ケアハウス、合わせて十四の施設を運営しています。震災後の素早い決断と実行力により、施設の利用者や地域住民からの信頼も厚く、現在六十名以上が、施設の入居を待っていると言います。

また、気仙沼市から「LSA(生活支援員)事業」を受託し、災害公



▶【なごみ】敬老会の様子

営住宅内に設置された高齢者相談室も運営、さらに一関市では被災者生活再建支援のためのサポートセンター一棟を担うなど、地域社会福祉の復興の一助になる活動も積極的に行っています。

気仙沼地区は資金面だけでなく、人手不足という課題も抱えています。人口減少に比例して、労働人口が減り、職員の確保も難しいのが現状です。

そんな中ここ数年、子どもを授かる職員が増えていると木村さん。「人口が減る一方、新しい命が誕生していることが嬉しい。産休後戻ってきてくれる職員のためにも、子育てに取り組める職場環境も整えていきたい」と今後の抱負を話します。

なごみの地域を想い、寄り添う活動スタイルが、未来の豊かな社会づくりにつながっていきます。

●●これからも続く創る村の挑戦●●

NPO法人創る村は、高齢者向けのデイサービス・宅老所と、学校になじめない子ども達のためのフリースクールを併設した施設を運営し、目の前に松島湾が広がる東松島市新東名を拠点に、音楽や芸術、食事などを通して、高齢者

◀「創る村」敬老施設「老菜子の家」



も子どももお互いに尊敬し合い、交流できる環境づくりに取り組んでいます。

二〇一一年四月に新設した福祉施設「老菜子(ろうらいし)の家」開設に向け、三月五日に祝賀会を行ったばかりだったあの日、ここにも津波がやってきました。

一階部分は浸水しましたが、全員無事に避難しました。人命救助やけが人の手当ても、職員が積極的に取り組み、近所の方や被災者も身を寄せ、「老菜子の家」は一週間ほど、二十名を超える人の避難所になりました。

利用者や子ども達に早く安心してきる場所を提供したい、と再建も急がなければいけません。しかし、

「老菜子の家」の改修費用には一、七二二万円、他の施設再建にも多額の費用が必要です。

募金サイト「復興みやぎ」で設定した寄付の目標額は二、六二二万円。全国から寄付金が届き始め、共同募金会や民間の助成金も得ることができました。復旧工事には、ボランティアや職員自らも加わり、二〇一一年十月、「老菜子の家」の改修を完成させ、「デイサービスアートステージ」と「宅老所キャンデイハウス」で受け入れをスタートしました。流失したピアノなど活動に必要な物資の支援もあり、少しずつ設備が整いつつあります。

「沢山の方々に支えられ、ここまで来ることができました。皆さんからの温かい志を無駄にしないよう、これからも自分達ができることに全力で取り組んでいきます」と理事長の飴屋善敏さんは、新たな展望も秘めながら、震災から五年を迎えました。

そんな軌道に乗り始めていた今年の四月六日、創る村敷地内から火災が発生しました。鉄筋コンクリート四階建ての事務所兼住居と、フリースクールの子どもの達を受け入れや演劇の稽古に利用していた木造三階建ての建物二棟が全

焼。幸いにも「老菜子の家」や隣の家屋には燃え移らず、デイサービスの利用者や職員も無事でした。

「火災から二日後に再開することができた「老菜子の家」の運営を安定化させることはもちろん、活動が途切れないよう、火災を免れた施設や公共施設を利用しながら、フリースクールや劇団活動もできるだけ早く再開できるように全力を尽くしたい」と理事の飴屋善太さんは今後の構想を語ります。

高齢者を敬い、ミュージカルや公演などを通して、子ども達の心身を育む教育・環境づくりへの挑戦は、これからも続いていきます。

希望を捨てず、前進する創る村ですが、建物とともに、活動に欠かせない楽器や陶芸用品、工具、今までの功績を印す膨大な資料も失いました。皆さんの心からの支援を必要としています。

●創る村へのご支援●
現在必要としている支援の詳細については、直接創る村までお問合せください。
TEL : 0225-88-3793
E-mail : tsukurumura@ybb.ne.jp
●ご寄付先●
振込先：郵便振替
振替口座：02210-5-47754
加入者名：NPO法人創る村

宮城県共同募金会 花咲いた 「みやぎチャレンジプロジェクト」

赤い羽根募金を主催している宮城県共同募金会が、平成二十七年に初めて取り組んだ助成事業、社会課題解決「みやぎチャレンジプロジェクト」は、今年の一月一日から三月末日で寄付が締め切られ、四月二十二日にその配分決定通知書伝達式が開催されました。このプロジェクトは、地域にある



▶活動にむけての頑張るぞコール

課題に取り組んでいる市民活動団体が、自ら広く市民に活動内容を伝え、活動を継続するに当たり必要な資金の目標額を示し、市民の共感・理解を得て、市民に寄付先として選んで寄付してもらおう、という新しいスタイルの募金活動です。今回は、県内十五の市民活動団体がエントリーし、団体が主体となり、共同募金会とともに募金活動を行いました。

●●●市民の共感が広がった! ●●●

参加十五団体の目標総額は、一八、九五五、〇〇〇円。宮城県の募金が寄せられ、募金総額は、一一、二二三、〇八四円になりました。目標額には及びませんでした。一件当たり平均寄付額は、一二、五一五円と、会社からの一件五十万円という大きい寄付もあり

◀決定通知書伝達



りましたが、多くは共感をした市民からの寄付だったと共同募金会は見えています。

伝達式に出席した団体からは、今回のプロジェクトに参加したこと、二、〇〇〇枚もの広報チラシをダイレクトメールで送ったよりも、フェイスブックで送ったよりの活動のことが数倍寄付につながることが分かったことや、「直接お話しできたことで、市民がどう見ているのか生の声が聞けた」「共感してくれた寄付者が、更に知り合いの寄付者を紹介してくれた」などの感想が語られました。しかし、共同募金会が評価しているのは、各団体は、前半はなかなか実績があがらないもどかさ

がありましたが、後半は、どの団体も自分の団体の説明や寄付の呼びかけの仕方がうまくなり、市民から共感を得て、寄付につながったという体験をしたことであると語っています。

初めて募金活動に動いた団体もあつたなかで、いかに市民からの共感を得ることが難しく、得た寄付の使途に責任があるかを感じてもらったことが団体にとって大きな財産となったのではないのでしょうか。

今回の実績額は、九万円から三、五三七、六五五円と開きが大きいです。それぞれ活動の規模や内容によって必要な額が違います。この実績額に加え、宮城県共同募金会から一団体あたり五万円、八十万円が助成されます。

「みやぎチャレンジプロジェクト」は平成二十八年度も実施されます。七月から県内数か所で説明会が開催されますので、前回見送った団体もぜひ、チャレンジしてみよう。

宮城県共同募金会

〒984-0051 仙台市若林区新寺1丁目4-28

●TEL : 022-292-5001

●FAX : 022-292-5002

●URL : <http://akaihane-miyagi.or.jp/>

交流サロン

共同作業室

を活用して、快適なNPO活動を!

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

財源にも人手にも余裕がないNPOは、少しでも経済的かつ効率的に活動することが求められます。少ないコストで活動の幅を広げたいと思っている団体に向けて、今回はみやぎNPOプラザ(以下、プラザ)の交流サロンと共同作業室を紹介いたします!

交流サロンに気軽に集合!

市民活動目的ならば事前予約不要で誰でも利用できる「交流サロン」は、気軽に打ち合わせをする場所を探している方におすすり。

「会議室を借りるまでではないけれど、ちょっとだけ打ち合わせをしたい」そんなときに無料で使えるスペースはそう多くありません。



▶交流サロンでの打ち合わせ風景。ホワイトボードにプロジェクトを投影し、各自のPCはWiFiでインターネットにつながっています。(協力：NPO法人ボランティアインフォ)

交流サロンならWiFiが使える、ホワイトボードも使えてパソコン(二台)も利用可能です。市民活動に関することで困ったことがあれば、すぐに聞けるスタッフがいます。ポイントです。窓口で、緑のエプロンが目印のプラザスタッフが相談ください。

印刷物を作るなら作業室で

ICT技術が日々進歩しているとはいえ、会議資料、催事のチラシ、団体パンフレットなどの紙媒体の印刷物も市民活動を続けるうえで、欠かせない情報発信のツールです。

印刷物に関する作業は「共同作業室」を使うと効率的です。印刷機はもちろん、コピー機、紙折機など印刷物を作るにあたって必要な機器がひと通り揃っており、作業するのに十分なスペースも



▲交流サロンでは助成金などのNPO支援情報を集めることができます。もちろん、イベントチラシを置いたりボランティア募集をしたりとNPOが情報を発信することも可。



▲作業室で印刷した総会資料の仕分けをしている様子。(協力：仙台生ごみリサイクルネットワーク)

あります。

コスト面で考えても、印刷は二〇〇〇枚までなら一製版一〇〇〇円。オフィス複合機を持っているという団体でも一度コスト計算をしてみてください。印刷機を使っただ方が安く抑えられる場合は案外あるものです。

このようにみやぎNPOプラザは市民活動をするために特化した施設です。まだ利用したことがないという団体、市民の方がいらっしやいましたら、ぜひ一度足を運んでみてください!

◆活動拠点をお探しの団体へ

- みやぎNPOプラザ事務室使用団体募集!
- 申込締切…五月十八日(水)
- 問合せ先…みやぎNPOプラザ

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

法人設立・運営相談 毎週水曜日 13:00~17:00

会計・税務相談 5/24(火) 13:00~17:00

NPOのための会計初級講座 6/16(木) 13:30~16:30

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者：認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎022-256-0505 ☎022-256-0533

✉npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

- TEL/FAX: 022-256-0511
- E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp
- http://www.miyagi-npo.gr.jp/

公益財団法人高原環境財団 平成28年度助成

- 助成対象：①緑化を伴うヒートアイランド対策
②子どもたちの環境学習活動
※詳細は下記URL参照
- 対象団体：①日本国内に所在する法人、地域活動団体
②日本国内の保育園、幼稚園、小学校、NPO法人等の地域活動団体
※①、②とも助成事業を行う公益法人を除く
- 助成金額：①1件あたり助成対象費用の100分の80、または200万円のいずれか少ない額
②1件あたり助成対象費用の額、または50万円のいずれか少ない額
- 応募締切：5月20日(金) 必着
- 連絡先：公益財団法人高原環境財団
TEL：03-3449-8684
URL：http://takahara-env.or.jp/

平成28年度「シニアボランティア活動助成」 「サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成」

- 【シニアボランティア活動助成】
- 対象団体：社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア(年齢満60歳以上)が80%以上のグループ(NPO法人含む)
- 【サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成】
- 対象団体：社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン(ウーマン)80%以上のグループ(NPO法人含む)
- 【共通事項】
- 助成対象：高齢者福祉、障がい者福祉に関するボランティア活動、子ども(高校生まで)の健全な心を育てる交流ボランティア活動(いずれも無償の活動が対象)
※過去5年間に本財団の助成実績があるグループは対象外
 - 助成金額：1件あたり原則10万円
(特に内容が優れている場合は20万円限度で助成)
 - 応募締切：5月25日(水) 当日消印有効
 - 連絡先：公益財団法人大同生命厚生事業団事務局
TEL：06-6447-7101
URL：http://www.daido-life-welfare.or.jp/

2016年度「地域福祉チャレンジ活動助成」

- 助成対象：認知症(若年認知症含む)の人の地域での生活を支える活動、サービス創出に向けての活動(独自財源づくり含む)、医療・介護・福祉・保険の連携を実現するための活動(詳細は下記URL参照)
- 対象団体：助成テーマにチャレンジする意欲がある団体、他の団体・機関、住民組織等と協働で活動する団体
※過去10年間に本財団の助成実績がある団体は対象外(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：最大400万円(1年最大200万円)
- 応募締切：5月31日(火) 当日消印有効
- 連絡先：ニッセイ財団 高齢社会助成事務局
TEL：06-6204-4013
URL：http://www.nihonseimeizaidan.or.jp/

第33回「老後を豊かにするボランティア活動資金助成」

- 助成対象：地域に根ざした、高齢者を主な対象としたボラ

- ンティア活動等の支援を目的に、その活動に継続的に使用される用具、機器類の取得資金を助成
- 対象団体：高齢者を主な対象として活動を行っているボランティアグループ(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：1グループあたり上限10万円(計120グループ程度を予定)
- 応募締切：5月31日(火) 必着
- 連絡先：公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部
TEL：03-3596-4532
URL：http://www.mizuho-ewf.or.jp/

2016年度「東日本大震災復興支援活動」 助成プログラム 第4回

- 助成対象：東日本大震災の被災者を救済、支援していくために行う活動
- 対象団体：日本国内に活動拠点がある非営利の団体
- 助成金額：1件あたり上限50万円
- 応募締切：5月末日受付分まで
- 連絡先：Yahoo!基金
E-mail：kikin-josei-master@mail.yahoo.co.jp
URL：http://kikin.yahoo.co.jp/

東日本大震災現地NPO応援基金[特定助成] 大和証券フェニックスジャパン・プログラム2016

- 助成対象：東日本大震災の復興支援(被災者の生活再建等の支援)を行うNPOの組織基盤強化事業(人材育成)
- 対象団体：岩手県、宮城県、福島県等において被災者の生活再建を長期的な視点で支援する「現地NPO」で、特に次の目的を持つ団体
1)社会的に弱い立場にある被災者の生活再建を支援
2)被災者の安心・安全な居住・生活基盤の再建を目指した復興まちづくりを支援
- 助成金額：1件あたり500万円以内
- 応募期間：6月1日(水)～6月8日(水) 必着
- 連絡先：NPO法人市民社会創造ファンド
「大和証券フェニックスジャパン・プログラム」
(担当：神山、山田)
TEL：03-5623-5055
URL：http://www.civilfund.org/

平成28年度「みやぎ地域復興支援助成金」

- 助成対象：被災地の空き家等既存施設を改修した拠点を活用し、復興を推進する事業
- 対象団体：NPO等(NPO法人、公益法人、社会福祉法人、学校法人、協同組合等の民間非営利組織等)、独立行政法人等、企業、市町村
- 助成金額：事業費上限1,000万円(下限300万円)
うち施設改修(ハード)事業費上限600万円
※ソフト部分助成率9/10以内
ハード部分助成率1/2以内
- 応募締切：6月15日(水) 17:00 必着
- 連絡先：宮城県震災復興・企画部地域復興支援課 復興支援第二班
TEL：022-211-2424
URL：http://www.pref.miyagi.jp/site/hukkousien/miyagitiikihukkousienjyoseikin.html

- 参加費：一般 1,500円
アマニ・ヤ・アフリカ会員または大学生 1,200円
高校生以下 無料
- 出演者：リリアン・ワガラ氏
(マゴソスクールの大きなお母さん)
へぜカヤ・オギラ氏(マゴソスクール教頭)
早川 千晶氏(マゴソスクール運営)
大西 匡哉氏(ケニアのドゥルマ民族のタイコ)
- 主催：NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ
- 連絡先：TEL：090-2975-6946 FAX：022-797-7556
E-mail：info@amani-ya.com
URL：https://www.facebook.com/events/
750319208437068

6/11 みんなでこせっぺ!おらほの森 植樹祭 2016

東日本大震災で失われた亶理町東部沿岸部の海岸防潮林に盛土した町有林エリアに植樹します。植樹する苗木は、町内の事業者、住民ボランティア、企業ボランティアの皆様の力で種から育てた苗木です。ご自身の手で植樹してみませんか？

- 日時：6月11日(土) 9:00~12:00 雨天決行・荒天中止
- 場所：吉田東部地区海岸林(町有林の新規盛土箇所に集合)
※詳細地図はHPに掲載しています
- 内容：新規に盛土している町有林への植樹(クロマツ、ヤマザクラ、コナラなど)
- 持ち物：長袖、長ズボン、帽子、軍手、作業に適した履物、雨具、スコップ(ある方)、飲み物
- 注意事項：小学生、幼児は父兄同伴でご参加ください
- 申込方法：下記連絡先まで事前申込み
- 申込締切：6月3日(金)
- 連絡先：NPO法人わたりグリーンベルトプロジェクト事務局
TEL/FAX：0223-35-7735
※事務所不在の際・当日連絡先
090-4016-8495(嘉藤)
090-2993-3654(三浦)
E-mail：info@watari-grb.org
URL：http://www.watari-grb.org/

6/13 傾聴ボランティア養成講座 (3回連続講座)

当会では、傾聴ボランティア活動を通して、孤立する方々の心に寄り添うことを心掛けています。日常の中に生かせる「傾聴」あなたも身につけてみませんか？是非ご参加ください。

- 日時：6/13、6/18、6/27 3日間とも10:00~15:00
※3日間全過程出席の方に修了証を発行
- 場所：1日目 仙台市福祉プラザ 1階 第1研修室

2・3日目 仙台市福祉プラザ プラザホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)

- 内容：1日目「傾聴の基本」「共感と受容」
2日目「傾聴のスキル」「ロールプレイング」
3日目「認知症」「コミュニケーションエクササイズ」
- 定員：30名程度(定員になり次第締切)
- 受講料：6,000円
(お振込みいただいた受講料は返金いたしません)
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み
※申込み後、3日以内に下記の口座に受講料の振込みをお願いします。又は振込み予定日をお知らせください。
振込先：ゆうちょ銀行
口座番号：02220-8-134520
※通信欄に住所、氏名(ふりがな) TEL、FAX、「養成講座受講料」と必ず明記
※お振込票は講座初日にご持参ください
- 持ち物：筆記用具、昼食(各自持参ください)、動きやすい服装で参加
- 主催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：TEL：090-6253-5640 FAX：022-343-9705
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaikeicho.web.fc2.com/

7/10 宮城県・仙台市主催 盲ろう者通訳介助員養成講座

盲ろう者とは、目と耳に障がいがある方のことをいいます。盲ろう者は目が見えないため移動が困難で、耳が聞こえないためコミュニケーションがとりづらく、情報収集にも苦労します。この講座では、盲ろう者に対する通訳と介助を学びます。一緒に盲ろう者を支えるお手伝いをしませんか？

- 日時：全7日間(42時間)
7/10・18・31、8/7・28、9/11・25
※カリキュラム等の詳細はホームページ又は、下記連絡先へお問合せ下さい
- 場所：仙台市福祉プラザ 他
- 定員：15名程度 (応募者多数の場合は抽選)
- 費用：テキスト代3,700円程度
- 対象：宮城県内にお住まいで、講座修了後盲ろう者通訳・介助員として活動ができる方
申込方法：ハガキに①講座名、②氏名(ふりがな付)、③年齢、④〒住所、⑤TELをご記入の上、下記住所にお送り下さい
- 申込締切：5月31日(火)必着
- 主催：宮城県、仙台市
- 連絡先：みやぎ盲ろう児・者友の会
〒980-0866 仙台市青葉区川内三十人町49-51
TEL/FAX：022-262-1383
URL：http://www.miyagi-db.com/

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jpまで

- 内 容：6月1日 ママのための午後カフェ
※ふれあいあそび、子育て&地域情報交換、カフェタイム(お好きなワンドリンク&お菓子)、月替わりのプチ企画
※月替わりの内容(離乳食試食、Babyフラ、手作りおもちゃ、ママストレッチなど)
- 対 象：0歳児(第一子のみ)とママの集い
- 参加費：200円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み
- 主 催：NPO法人アミューズおひさま
- 連絡先：TELまたはショートメール：090-9741-6334
E-mail：ohisamakids@gmail.com

6/5 第31回パーソンセンタードケアワークショップin仙台 5 パーソンセンタードケアとは何か～認知症ケアのために～

認知症の人に、どう接していいのかわからない、家族が認知症になって困っている、ケアの仕事や人間関係にちょっと疲れてきている…そんなあなたは、パーソンセンタードケアワークショップにご参加ください！

- 日 時：6月5日(日) 12:30～16:30
- 場 所：仙台市福祉プラザ 10階 第2研修室
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 定 員：50名
- 参加費：CLC (Juntos)会員・ブリコラージュ読者5,500円
一般7,500円 ※テキスト代込み
- 申込方法：下記連絡先までFAX、またはTELで申込み
専用申込フォームからの申込みも可能
※専用申込フォーム
<http://www.clc-japan.com/events/detail/6273>
- その他：認知症ケア専門士単位3単位が本セミナーで取得できます
- 主 催：NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)、
パーソンセンタードケア研究会、Bricolage
- 連絡先：NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
TEL：022-727-8730 FAX：022-727-8737
URL：http://www.clc-japan.com/

6/5 「女性と人権」講座 5 無業の若年女性の現実と自立支援

女性の活躍が言われる一方で、様々な困難を抱える女性たちも少なくありません。働きづらさや生きづらさに悩み、定職を持ってない若年女性は、社会的な支援の対象にもなりにくい状況にあります。若年女性の現実と自立支援のあり方について考えます。

- 日 時：6月5日(日) 13:30～16:00
- 場 所：エル・パーク仙台 5階 セミナーホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル)

- 内 容：【1部 講演】
ガールズ「ゆるーり仕事準備講座」を通して見える無業若年女性の現実と自立支援
【2部 パネルディスカッション】
- 定 員：60名
- 参加費：500円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
- 申込締切：5月27日(金)
- 主 催：NPO法人イコールネット仙台
- 連絡先：TEL：090-1398-5065(担当：佐藤)
FAX：022-271-8226
E-mail：emuna@ve.cat-v.ne.jp
URL：http://equal-net.jimdo.com/

6/7 短編映画「福島桜紀行」 7 「よみがえる浪江町」上映会

福島県内の桜がある風景と、それに携わる人々の声を集めたドキュメンタリー作品、そして浪江町の現状・避難生活を送る浪江町の人々の思いをまとめた作品の上映会です。福島郷土に思いのある方に、ぜひご覧いただきたい作品です。

- 日 時：6月7日(火) 18:00開場
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 6階
セミナーホール(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：18:30～19:30
「福島桜紀行」、 「よみがえる浪江町」上映
19:30～20:00鈴木監督のトーク有
- 定 員：50名
- 参加費：無料 ※自主制作映画のため、可能な方はカンパをお願いします
- 主 催：NPO法人20世紀アーカイブ仙台
- 連絡先：TEL：022-387-0656 FAX：022-387-0651
URL：http://20thcas.or.jp/

6/9 「スラムで生き抜く500人の子どもたちのビッグママ」 9 リリアン&オギラ来日トーク&ライブin仙台

スラムに住む子ども達500人が通う、ケニアのマゴソスクール。アフリカのトークや音楽ライブの中で、日本ではなかなか触れる事が出来ないスラムの現実と、その中で生き抜く人達の真の強さを知っていただきたいと思います。

- 日 時：6月9日(木)
開場18:00 開演18:30 終了20:45
- 場 所：エル・パーク仙台 6階 スタジオホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル
仙台三越定禅通り館)

社の伝言板

協賛広告を 載せてみませんか？

月刊社の伝言板ゆるるは、県域全体を対象に9,000部を発行しています。
この誌面を貴社・貴団体の広告ツールとして利用しませんか？

サイズ(横×縦、単位:mm)	協賛金	
50×180 掲載箇所 p.10、11、13、14、15	市民活動団体 (NPO法人含む)	10,000円
	上記以外 (企業、自治体など)	30,000円
100×180 掲載箇所:裏表紙	一 律	50,000円

※上記料金は作成済み広告データを持ち込んだ場合です。
※料金・詳細については、社の伝言板ゆるる事務局(連絡先は裏表紙に記載)までお問合せください。

5/19 行事食を味わう～行事にまつわる食とミニ講座～ 5月「夏越しの会」

四季折々にある節句や記念日にお祭り。いにしえより、自然の恵みに感謝し、家族の成長や健康を願い、「食」とともに祝ってきました。おりぎの家では、日本の伝統行事を見直し、そこに伝わる心と食を考える講座を企画しました。

- 日 時：時間すべて11:30～13:30
5/19(木)、5/20(金)、5/21(土)
- 場 所：おりぎの家(仙台市太白区長町1-12-14)
- 定 員：各日12名(お子様連れでの参加も受付)
- 参加費：各日1,500円(お食事・飲み物・デザート付き)
- 申込方法：開催前日までに下記連絡先まで申込み
- 主 催：NPO法人おりぎの家
- 連絡先：TEL/FAX：022-249-1625
URL：http://oriza1.jimdo.com/

5/27 簡単ホームページ作成講座 ～NPO・市民活動・自治会・サークル活動向けの講座～

あなたの団体にホームページはありますか？ホームページ作成費用も時間も無いという方にお勧めの講座です。

- 日 時：5月27日(金) 10:00～16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ Paso Café
- 対 象：パソコンの基本操作ができる人、個人・団体関係者を問いません
- 定 員：4名(先着順)
- 参加費：3,500円
- 持 ち 物：実習で使うパソコン(Windows7)を用意しますが、Wi-Fi対応のパソコンであれば持ち込みも可
※受講される方は、団体紹介やお知らせなどの原稿と、活動の様子などを撮った写真数枚をUSBメモリー又はパソコンに入れて持参
- 申込方法：下記URLにあるお申込み欄から申込み
- 申込締切：5月22日(日)
- 主 催：NPO法人イー・エルダ―東北支部

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

- 連絡先：TEL/FAX：022-796-8091
E-mail：tohoku@e-elder.jp
URL：http://www.e-elder.jp/tohoku/

5/28 喪失の悲しみを癒すために一番大切なこと

仙台グリーンケア研究会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合う場「わかちあいの会」を震災後、継続して実施してきました。今回はより多くの方に「グリーンケア」について知っていただく講演会を開催します。

- 日 時：5月28日(土) 14:30～16:00(受付14:15～)
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 6階
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講 師：井手 敏郎氏
(一般社団法人日本グリーンケア専門士協会 代表理事)
- 対 象：どなたでも参加可能
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで、参加者名・連絡先(TEL・E-mail)をお知らせください
- 申込締切：5月27日(金)
- 主 催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連絡先：TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

6/1 なりたてママの子育てサロン おひさまBaby

0歳児のお母さんどうし色々な話をして、気の合う人との出会いがあるかも。同じくらいの月齢のママ友は、子育ての悩みを話して情報交換したり、リフレッシュしたり、とても心強いものです。ママになってからのお友達は子育てを豊かにしてくれますよ。

- 日 時：6月1日(水) 13:30～14:30
※基本毎月第1水曜日10:30～11:30に開催
- 場 所：みやぎNPOプラザ内(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)

- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
- 仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体				宮城県等所轄分 3月11日～4月10日
団体名	所在地	活動内容	受理日	
宮城県等 いろいろ・みんなのみち	東松島市	地域資源を活かした市民主体のまちづくりを実現するための事業を行うもの	4/6	

宮城県のNPO法人数

808 団体

- 宮城県等所轄：386団体 ●仙台市所轄：422団体

※2016年4月10日現在

【宮城県認定】新たに認定NPO法人を取得したNPO法人

- ハートフル福祉募金(仙台市)

※認定(仮認定)NPO法人への寄付金は税額控除の対象になります。認定NPO法人は税制面で優遇措置を受けることができます。

NPO法人に認証された団体				宮城県等所轄分 3月11日～4月10日 仙台市所轄分 3月11日～4月10日
団体名	所在地	活動内容	認証日	
宮城県等 むらたスポーツクラブ	柴田郡村田町	地域住民の生涯スポーツ振興及び健康増進を図る事業を行うもの	3/17	
宮城県等 気仙沼市学童保育運営委員会	気仙沼市	小学生を対象に放課後児童健全育成事業を行うもの	3/25	
宮城県等 子育てひろば 夢ふうせん	亶理郡山元町	子育て支援に関する事業を行うもの	4/8	
仙台市 稲穂の絆	太白区	医師会等と連携を図り、農山漁村等の保険、医療及び福祉の増進を図る事業、農繁期の労働力不足の補完等による農業従事者を支援・援助する事業、農村環境の荒廃を抑制し、自然環境を保護する事業他	3/16	
仙台市 治療耐性がん細胞研究協議会	青葉区	放射線耐性細胞及びがん治療抵抗性細胞(以下「耐性細胞」とする)と治療関連遺伝子変異細胞(以下「遺伝子変異細胞」という。)の樹立、系統維持・管理及び委託分与事業、耐性細胞と遺伝子変異細胞の品質管理・維持に関する調査及び情報の収集と提供に関する事業、研究発表会(年会)の開催に関する事業等	3/18	
STORIA	宮城野区	子ども・若者に対する生活支援及び教育支援に関する事業、その他、第3条の目的を達成するために必要な事業	4/7	

- 場 所：みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 主 催：NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ
- 連 絡 先：〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-10-34
コーポすず205
TEL/FAX：022-797-7556
URL：http://amani-ya.com/

毎月第一日曜日は「石森いろいろ市場」

野菜、海産物、手作り雑貨、ケータリングカー、フリーマーケットのお店や健康と美容の癒しの体験コーナー等、まさに「いろいろ」市場です。どなたも一日中お楽しみいただけます。

- 日 時：毎月第一日曜日 10:00～16:00
- 場 所：石ノ森章太郎ふるさと記念館となり
(登米市中田町石森字町132)
- 主 催：NPO法人故郷まちづくりナイン・タウン
- 連 絡 先：コミュニティカフェ「cafeたばこや」
TEL/FAX：0220-23-7015
E-mail：info@nine-town.org
URL：http://nine-town.org/

イベント

5/6 脱原発みやぎ金曜デモ

東日本大震災、そして東京電力福島原発事故から今年で5年が経ちました。まだまだ福島原発事故は収束していません。「福島原発事故を忘れない!原発再稼働を許さない!」の声を発信しましょう。

- 日 時：5/6、5/13、5/20、5/27 いずれも金曜日
(5/6は元鍛冶丁公園集合 他の日は肴町公園の予定 ブログで確認ください)
<http://miyaginonuke.blog.fc2.com/>
18:00 フリートーク開始
18:30 デモ出発
- 対 象：どなたでも参加できます(会社や学校帰りに、ふらっと立ち寄ってください)
- 主 催：みやぎ金曜デモの会
- 連 絡 先：E-mail：miyagi.no.nuke@gmail.com
URL：http://miyaginonuke.blog.fc2.com/

5/7 4～5月 ♪0才も100才も一緒に! すんぷちダンスワークショップ オドリノタネ

赤ちゃんを連れて、家族で、カップルで、障がいがあってもなくてもどなたでも参加できるダンス?ワークショップです。ダンスの後に?が付くのはきっとみんなが想像するダンスとちょっと違うから。最初はゲームみたいだったのにいつのまにかダンスになっている?あなたのオドリノタネが目覚めます!

- 日時・場所：各日共通 土曜日 10:30～12:00
5月7日 せんだい演劇工房10-BOX box3
5月14日 宮城野区中央市民センター音楽室
5月21日 せんだい演劇工房10-BOX box4
5月28日 宮城野区中央市民センター第一会議室
- 参加費：大人500円 障がい者・子ども300円
ファミリー800円
※ファミリーはご家族親戚何人でもOK!
未就学児・ガイドヘルパー無料
- 申込方法：はじめてのご参加の方は下記までご連絡ください

- 主 催：NPO法人アートワークショップすんぷちよ
- 連 絡 先：TEL：070-5017-5904
E-mail：sunp.yoyakumail@gmail.com
URL：http://www.sun-pucho.com/

5/14 仙台12期 受講生募集!平成28年6月 開講 フラワーセラピスト養成講座(初級)説明会

フラワーセラピー研究会は、花を通じた社会参加の実践として「フラワーボランティア活動」を行っています。フラワーセラピスト養成講座開講に先立ち講座説明会を行います。ご参加いただき、フラワーセラピーを体感ください。

- 日 時：①5月14日(土) 10:00～12:00
②5月16日(月) 13:00～15:00
③5月26日(木) 13:00～15:00
- 場 所：①③みやぎNPOプラザ
②仙台市市民活動サポートセンター
- 内 容：フラワーセラピーとは…ボンネットかごアレンジ
- 参加費：1,000円(花材費実費)
- その他：フラワーセラピスト養成講座プログラム
花(ワイルドフラワー・ドライフラワー・生花など)を楽しみ、ボランティアマインドを学びます。
・受講料21,000円/13単位、
実枝花材費2～3,000円/1回ごと
※修了後は会員登録をしてボランティア活動に参加できます。次のステップ中級(フラワーボランティアリーダー養成講座)に進めます。
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み
- 主 催：NPO法人フラワーセラピー研究会仙台地区
- 連 絡 先：仙台地区担当：上野
TEL：090-9428-4342
URL：http://www.flowertherapy.net/

5/15 第35回 歩いて巡る歴史散策 ～仙台三十三観音巡り～

仙台の三十三観音は全て市内の交通の便の良い所にあるにもかかわらず、あまり存在を知られていません。運動と共に参加者の交流をはかり、歴史ある伊達街仙台の認識を深めることが目的です。

- 日程・行程：【第一行程】5月15日(日)1番～11番札所
集合場所・時間：地下鉄東西線 川内駅前
集合8:45 出発9:00
- 定 員：50人(定員に達し次第締切)
- 参加費：楽遊ネットワーク宮城会員2,000円
一般2,500円(レジャー保険料・小冊子含)
- 持 物：全行程徒歩で廻ります ※各自おにぎり持参、歩きやすい服装にてご参加ください
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mail・FAXで申込みのうえ、下記振込先へ参加費を振込み
申込み時、参加希望コース、参加者氏名(ふりがな)、住所、TEL・E-mail、参加人数、会員の有無をお知らせください
- 振込先：郵便貯金総合通帳
記号18100 番号1606691
特定非営利活動法人楽遊ネットワーク宮城宛
- 主 催：NPO法人楽遊ネットワーク宮城
- 連 絡 先：TEL：022-261-9869 FAX：022-261-0546
E-mail：eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
URL：http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyuu.html

- 申込方法：下記メールアドレスに、「当日ボランティア参加希望」と書き添えてご連絡をお願いします。数日中に、担当者から連絡します。
- 主催：仙台短篇映画祭実行委員会
- 連絡先：E-mail：info@shortpiece.com
URL：http://www.shortpiece.com/

(3)三井住友信託銀行 本店営業部
普通預金 口座番号：0180014
口座名：(福)中央共同募金会

【支援金(支える人を支える募金)】

「支援金」としてお預かりした募金は、被災された方々の支援・救援活動を行う NPO・ボランティアグループなどの活動資金助成等に役立させていただきます。

- 振込先：※別途振込手数料が必要
三井住友銀行 東京公務部 普通預金
口座番号：0042262
口座名：(福)中央共同募金会

【共通事項】

- 連絡先：社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部
TEL：03-3581-3846
E-mail：kikaku@c.akaihane.or.jp
URL：http://www.akaihane.or.jp/

お知らせ

活動拠点を探すNPOの皆さん 借受団体募集中!

宮城県では、NPO活動促進策の一環として、県が所有する遊休施設をNPOの活動拠点として安価に貸付けする事業を実施しています。※借受団体は、機会の公平性を確保するため、公募を行い、企画コンペを実施し決定します。

- 募集施設名：旧白石高等学校校長宿舎(1施設1団体)
- 所在地：白石市南町1-2-68
- 貸付料：年額174,420円(予定)月額14,535円程度
- 貸付期間：5年間
- 施設詳細：軽量鉄骨造 階数1階 延べ床面積85.14㎡
- 説明会：説明会開催日は、希望団体と調整の上決定します
- 申込方法：下記URLから申請書をダウンロードし、提出期限までに提出
- 申込締切：5月31日(火)17:00必着
- 連絡先：宮城県環境生活部共同参画社会推進課
NPO・協働社会推進班
TEL：022-211-2576 FAX：022-211-2392
URL：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/prom-koubo.html

平成28年熊本地震 災害義援金・支援金の募集

中央共同募金会は、熊本地震義援金・支援金の受付口座を開設しました。復興に向けた取り組みを進めるため、ご協力をよろしくお願いいたします。

【義援金】

災害により被災された方へのお見舞い金として、寄付金全額が、熊本県、熊本県共同募金会等で構成される義援金配分委員会に集約され、被災者に配分されます。

- 取扱期間：4月18日(月)～6月30日(木)
- 振込先：※送金手数料については、下記URL参照
(1)三井住友銀行 東京公務部
普通預金 口座番号：0162585
口座名：(福)中央共同募金会熊本地震義援金
(2)りそな銀行 東京公務部
普通預金 口座番号：0124323
口座名：(福)中央共同募金会

事業案内

「山元の未来への種まき会議」参加者募集

「山元の未来への種まき会議」は、山元の新たな「つながり」・「とりくみ」を応援する場として、2013年7月から町内の有志活動団体が立ち上げました。今回は19回目の開催です。山元町で活動を考えている団体や山元町に関心のある方など、どなたでも参加できます。

- 日時：5月22日(日) 13:30～16:00
- 場所：山元町中央公民館(山元町浅生原字日向12-1)
- 内容：毎回、山元町内外からの参加があり、新たな出会いや仲間募集の呼びかけ、情報交換の場です
- 参加費：無料
- 申込方法：事前申込み不要(直接、会場までお越しください)
- 主催：山元の未来への種まき会議
- 連絡先：E-mail：tanemaki.info@gmail.com
URL：http://tanemaki.info/

【みやぎNPOプラザ短期ショップ】

アマニ・ヤ・アフリカ ケニアのフェアトレードショップ

ケニアのフェアトレード雑貨・アクセサリーの販売を行います。今回は新商品をたくさんご用意しました。このほか、タンザニアのオーガニックコーヒー、チャイ(一杯100円)を販売します。

- 期間：5月24日(火)～5月31日(火) 12:00～17:00
※5月23日(月)はお休みです

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2016.4.16現在)敬称略

- 正会員 50名
<仙台市> ●堀川晴代 ●NPO法人仙台シニアネットクラブ
- 賛助会員 99名
<北海道> ●青柳誠孜
<仙台市> ●大久保有希子 ●鎌田彰 ●菊池隆男
●久保美紀子 ●館内亨太 ●堀川晴代
<白石市> ●村上千恵
<愛知県> ●大久保元博

会 員 募 集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	-□ 3,000円
賛助会員NPO	-□ 5,000円
賛助会員企業・団体	-□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる**

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

4月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

英語塾で中学生に英語の楽しさを伝えませんか？

困窮家庭の中学生向けに6月より英語塾をスタートします。勉強だけでなくゲームなどを通じて英語を学ぶ時間もあり、楽しく教えてくださる方を募集しています。

- 活動日時：毎週土曜日
- 活動場所：キッズドア事務所内
- 活動内容：指導方法は1対1～1対2の個別指導方式、全体でのアクティビティを予定しています。英語を好きになり、受験に対応できる英語力を身につけることを目標としています。
- 対象：困窮家庭の中学1～3年生
- 定員：15名(英会話講師、留学経験者、宮城県在住の海外の方など大歓迎です)
- 申込方法：下記応募フォームよりお申してください
<https://ws.formzu.net/fgen/S32572730/>
- 申込締切：5月20日(金)
- 応募主体：NPO法人キッズドア
- 連絡先：担当：對馬(ツシマ)
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8
パルシティ仙台1階C
TEL：022-354-1157 FAX：03-5244-9991
E-mail：tohoku@kidsdoor.net
URL：http://www.kidsdoor.net/

とっておきの音楽祭2016 ボランティア募集

とっておきの音楽祭は、障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで、「心のバリアフリー」を目指す音楽祭です。魅力ある音楽祭を今年も皆さんと創っていきます。音楽祭の趣旨をご理解いただき、ぜひご参加ください！

- 開催日時：6月5日(日)
9:00～20:00頃まで(高校生は18:00まで)
※集合7:45～8:15
ストリート演奏10:00～17:00(29ステージ)
フィナーレ17:30～19:00
- 活動場所：仙台市民広場、勾当台公園、定禅寺通り、一番町通り、仙台駅前など
- 活動内容：①ステージ運営スタッフ、②インフォメーションスタッフ、③エコステーションスタッフ
(詳細は、ホームページをご確認ください)
- 参加費：500円(当日着用するスタッフTシャツ代を説明会の際いただきます)
- 申込方法：ホームページ上のボランティア申込フォームから事前申込み
- 申込締切：5月23日(月)
- その他：ボランティア参加者向け事前説明会を行います
5月29日(日) 13:00～16:30(予定)
青葉区中央市民センター第二会議室にて
- 主催：とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI

- 連絡先：〒980-0014 仙台市青葉区本町2-9-3 6階
TEL：022-265-0980 FAX：022-716-5717
E-mail：info@totteokino-ongakusai.jp
URL：http://totteokino-ongakusai.jp/

医学部学生の実習相手となる模擬患者役(SP) ボランティア募集

将来のお医者さんを育てる実習のお手伝いをしませんか？実習用のシナリオがありますので、医学知識や演技の経験は必要ありません。まずは、説明会・見学会へぜひお越し下さい。

- 活動日時：4月～2月 隔週(水) 15:00～17:30
8月～12月 毎週(水) 14:00～17:30
※活動については上記時間内で応相談
(その他、勉強会等有)
- 活動場所：東北大学医学部内
- 活動内容：東北大学医学部学生の実習(医療面接(問診)時に、患者役を演じ、学生の指導に携わります。実習用のシナリオがありますので、医学知識や演技の経験は不要。また複数の学年の実習があるため、年間を通じて、何らかの活動があります。ご都合に合わせて、ご参加ください。
- 対象：20～60歳
- 参加費：なし
- 交通費：支給なし
- 申込方法：下記連絡先へ問合せください
(まずは見学会へご参加いただきます)
- 申込締切：6月中旬
- 主催：仙台SP研究会DAtTE
- 連絡先：担当：高橋
TEL：022-717-8189 FAX：022-717-8223
E-mail：edu-office@meduc.med.tohoku.ac.jp

ショートピース! 仙台短篇映画祭2016

ボランティアスタッフ大募集!!

9月17日～19日にせんだいメディアテークで開催される『仙台短篇映画祭』。実行委員会では、今年も多くの方に楽しんでもらえるものとなるよう、現在準備を進めているところです。映画祭当日、私たちと一緒に映画祭を盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集します。

- 日時：9月16日(金)～9月19日(月・祝) 9:00～21:00
※4日間のうち、1～3日間でも可。活動時間も応相談
- 場所：せんだいメディアテーク
- 内容：9月16日(金)前日準備(会場準備、配付物準備等)
9月17日(土)～19日(月・祝)受付、チケット販売・もぎり、誘導、プログラムの運営補助等
- 対象：映画好きな方、イベントの運営に興味がある方、お客さんと明るく、丁寧に接することのできる方、カメラ、ビデオ等の記録用機材を扱える方
※学生さんも大歓迎！



平成28年度

みやぎの居場所づくり助成

真如苑では宮城県内の地域において支え合いの地盤が醸成され、地域が発展していくお手伝いできればと考え、「みやぎ居場所づくり助成」を始めました。この助成は福祉活動に関わる継続的な居場所づくりの地域活動を支援・育成することを目的としています。多くの皆様のご応募をお待ちしています。

◆対象事業◆

高齢者、障がい者、児童、女性、青年など、その人らしく過ごせ、様々な課題を支援するための居場所づくりをする民間団体およびボランティアグループによる活動。

◆助成団体◆

宮城県内で活動し、概ね1年以上の活動実績がある非営利および公益的な活動をする団体およびグループ（法人格の有無は問わない）。

※政治または宗教布教を目的とする活動およびそれらの活動と連動性、一体性を持つ活動は対象としません。

◆助成金の額◆

1件あたり上限30万円、下限10万円（助成金総額150万円）

◆募集期間◆

平成28年4月15日（金）～5月15日（日）消印有効

応募にあたっての注意事項

詳細は下記URLをご確認ください。助成金申請書など必要書類も下記URLからダウンロードできます。

URL:<http://www.ibasyo-josei.jp/>

問合せ

みやぎの居場所づくり助成事務局（認定NPO法人杜の伝言板ゆるる）

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6

●TEL:022-791-9323 ●E-mail:koubo-miyagi@ibasyo-josei.jp

みなさんのご寄付が、 地域を元気にする 力になります

子育て、少子高齢化、障がい支援、過疎化、環境問題、震災復興…

杜の伝言板ゆるるは、地域が抱える課題を自分たちで解決していこう!と取り組む市民活動をサポートしています。私たちがより安心して暮らせるまち、住みよい地域を次世代に継ぐために、これからもさまざまな情報発信と支援活動を続けていきます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

次世代を担う高校生のボランティア体験プログラム

NPOで高校生の夏ボラ体験

の継続にご協力ください!

未来を創っていく高校生が、地元のNPOでボランティア体験をする機会を提供しています。いろいろな分野の人と出会い、関わりながら市民活動への理解を深め、貴重な経験を糧に地域を担う一員として活躍してくれることが願いです。

市民の力による市民活動を応援するための情報誌

月刊杜の伝言板ゆるる

の発行を応援してください!

1997年の創刊から毎月欠かさず発行している、宮城県内の市民活動やボランティアを応援する月刊情報誌です。市民活動に踏み出すきっかけとなる、さまざまな情報をこれからも発信していきます。

「認定NPO法人」である当法人へのご寄付（賛助会員の会費含む※）は、税制上の優遇措置（寄付控除）の対象です（詳しくは、お近くの税務署や税務相談室までお問合せください）

お振込み先

【郵便振込口座】02250-0-43800

【加入者名】特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

※賛助会員については、P14会員募集をご覧ください